

# 【保健医療計画 実績報告】

事業概要	事業名	栄養・食生活の改善				事業番号	1-1-1			
	事業内容	食生活の改善に向け、栄養や食事バランスをテーマに栄養教室を実施する。また、食生活に課題の多い若年層を対象に食育講座を実施する。								
事業実績	計画目標・計画内容	生活習慣病予防や健康づくりに関する知識を深め、健全な食生活を実践できるように、調理実演や実習を取り入れた栄養教室を開催する。 若年層を対象に調理実習を中心とした講座を開催し、食への興味や基本的な知識・調理能力を育て、食育を推進する。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	健康づくり栄養教室	回	3	3	3	100%	3	100%	3	100%
	食育講座	コース	2	2	2	100%	2	100%	2	100%
	27年度の成果等	ライフステージに応じた栄養指導の一環として、生活習慣病予防等を目的とした栄養指導講習会を開催し、食を通じた健康づくりに関する知識と技術を伝達した。  【健康づくり栄養教室テーマ】 ・食事バランス ・カルシウム ・高齢者								
	28年度の成果等	生活習慣病予防を目的とした講習会では、食物繊維、油脂、高齢者という3つのテーマを設けて実施した。また、若年層を対象に、調理実習を中心とする講座を開催した。バランスよく食べることの大切さ等の知識と基本的な調理技術を伝えることで、参加者たちの食への興味を広げることができた。 食を通じた健康づくりを推進し、生活習慣病を予防するために、今後も世代に合わせたテーマで講座を実施する。								
29年度の成果等	生活習慣病と関連の深い「塩」「体重」をテーマに取り上げたほか、生活習慣病に罹患する割合が高くなる「高齢男性」を対象とした教室を開催した。また、早期からの予防を目的に、対象を若年層に絞った講座を開催した。 講義と調理実習を通し、食事バランスや食事量等の知識と基本的な調理技術を伝え、参加者の健康づくりへの意識を高めることができた。食を通じた健康づくりを推進し、生活習慣病を予防するため、今後も世代に合わせたテーマで講座を実施する。									

事業概要	事業名	歯と口腔の健康					事業番号	1-1-5		
	事業内容	19年度より成人の口腔衛生の保持増進を図るために、区民の30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の方を対象に、歯周疾患検診を実施している。対象者に受診券を送付し、実施期間内に歯科医療機関で受診する。								
事業実績	計画目標・計画内容	成人の口腔衛生の保持増進を図り、かかりつけ歯科医を持つ機会を提供するため、歯周疾患検診を実施する。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	受診率	%	15	10	11	70%	11	73%	11	73%
	27年度の成果等	昨年同様に地区歯科医師会へ委託し、8月1日から12月28日まで実施した。受診券を個別に送付し、チラシや区報、ホームページなどで周知を図った結果、受診率が僅かに上がった。28年度より受診間隔を10年から5年に短縮し実施する。これにより受診率の向上とかかりつけ歯科医を持つ区民の増加が期待できる。								
	28年度の成果等	従来10年間隔であった受診間隔を、28年度より30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳に変更し、地区歯科医師会への委託により、8月1日から12月28日まで実施した。その結果、受診者数が前年1,455人から2,769人に増加し、受診率も僅かに上昇した。今後も受診率向上に向け、受診券の個別送付や区報、HP等を利用した周知に努める。								
29年度の成果等	平成28年度より受診間隔を30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳に変更し、地区歯科医師会への委託により、8月1日から12月28日まで実施した。その結果、受診者数が前年2,769人から2,936人に増加し、受診率も僅かに上昇した。平成30年度には更に対象年齢を拡大し、引き続き、受診率の向上や周知に努める。									

事業概要	事業名	生活習慣病の予防					事業番号	1-2-1		
	事業内容	生活習慣病の特性や生活習慣の改善の重要性についての区民の理解を深め、運動習慣の定着や食生活の改善実践を促すため健康教室を開催する。								
事業実績	計画目標・計画内容	メタボリックシンドロームの予備群を対象に、栄養・運動の実践を取り入れた健康づくり教室を開催する。また、ファミリースポーツデーで、生活習慣病予防について普及啓発を行う。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	生活習慣病予防教室	回	7	7	7	100%	7	100%	7	100%
	ウォーキング教室	人	400	459	705	176%	578	145%	478	120%
	27年度の成果等	生活習慣病予防教室は、青年期の参加を促すために子どもと一緒にできるプログラムを加えた。ウォーキング教室(初心者・継続者各24回)は対象枠の拡大と関心の高まりにより参加者数が増加している。壮年期の運動習慣定着を促すために、26年度から開始した健康スキルアップ教室(年8クール)を継続して実施した。								
28年度の成果等	より若い世代に生活習慣病予防の啓発を行うため、「生活習慣病予防教室」の一部として、子育て中の保護者を対象としたプログラムを実施した。運動習慣の定着を促す健康スキルアップ教室(年8クール)では、参加者層の幅が広がるよう対象やテーマに変化をつけて実施し、以前に比べ40～50代の参加者が増えるなど参加年齢層の広がりが見えた。今後は生活習慣病予防の無関心層を対象に、健康づくりのアプローチを工夫していく必要がある。									
29年度の成果等	幅広い世代に生活習慣病予防への関心を持ってもらうために、対象やテーマに変化をつけたプログラムを提供した結果、子育て世代からシニア世代まで参加者の年齢層は広がっている。生活習慣病予防に無関心な層への働きかけは今後も引き続き工夫していく必要がある。									

事業概要	事業名	生活習慣病の早期発見					事業番号	1-2-2		
	事業内容	40歳以上の国民健康保険加入者を対象に、内臓脂肪型肥満とその予備軍を減少するために特定健康診査・特定保健指導を実施している。								
事業実績	計画目標・計画内容	25年度からの特定健康診査等実施計画に基づき、内臓脂肪に着目した特定健康診査・特定保健指導を継続実施する。また、健診期間を拡大し、新規受診者の増加とともに、連続受診者の受診率の向上を図る。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	特定健康診査受診率	%	60	42	45	75%	45	75%	45	75%
	特定保健指導実施率	%	60	10	13	22%	18	30%	11	18%
	27年度の成果等	<p>特定健康診査受診率(国民健康保険加入者)及び、特定保健指導実施率は現時点での速報値であり、正確な数値は本年11月頃となる。</p> <p>特定健康診査受診率は、受診勧奨はがきを二度発送する等、受診勧奨に力を入れて取り組んだ。</p> <p>特定保健指導の実施率は、目標達成には至っていないものの、27年度途中より委託した新規事業者の成果が今後加算される。新規事業者と勧奨方法等の検討を行い、実施率向上を図った。</p>								
	28年度の成果等	<p>28年度特定健康診査受診率、特定保健指導実施率は速報値であり、確定値は本年11月に算定される。年度を越えて実施される特定保健指導の実績参入により指導率は若干上昇する見込みである。</p> <p>受診率等の向上のため、特定健康診査では、受診券送付時の封筒の大きさや案内冊子のフルカラー化により、わかりやすい案内を心掛け、特定保健指導では、電話による利用勧奨を行った。</p> <p>目標受診率等は、厚生労働省が策定した参酌基準を参考に設定しており、実績と乖離が見られるが、今後も受診の必要性や仕方などを丁寧に周知することで、目標達成に努める。</p>								
29年度の成果等	<p>29年度特定健康診査受診率、特定保健指導実施率は速報値であり、確定値は本年11月に算定される。年度を越えて実施される特定保健指導の実績参入により指導率は若干上昇する見込みである。</p> <p>特定健康診査は、文京シビックセンター地下二階のマルチビジョンにて特定健診PR動画の放映、区が主催するイベントでは血管年齢測定やパネル展示、チラシ配布、受診勧奨はがきの二度発送、未受診理由のアンケート調査等を行った。</p> <p>特定保健指導は、男女ともすべての年代において目標値を下回っているが、とりわけ50代の実施率向上が課題となっている。今後も委託事業者と勧奨方法について検討を図り、実施率向上に努める。</p>									

事業概要	事業名	がん検診受診率の向上				事業番号	1-3-1			
	事業内容	区が実施している各種がん検診は、区報等で広く区民に周知し実施しているものである。乳がん・子宮がん検診は2年に1度の受診だが、受診期間は1年を通じて実施している。また、胃がん検診は区健康診査と同時に受診できるように、健康診査の受診勧奨期間に合わせて実施している。								
事業実績	計画目標・計画内容	がん検診についての啓発、受診勧奨とともに、受診しやすい環境整備を推進し、がん検診受診率の向上を図る。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	乳がん検診受診率	%	24	19	23	97%	28	115%	23	94%
	子宮がん検診受診率	%	35	29	29	82%	29	82%	25	71%
	胃がん検診受診率	%	18	12	12	66%	10	56%	19	107%
	大腸がん検診受診率	%	37	28	31	82%	29	79%	29	78%
	27年度の成果等	子宮がん検診、乳がん検診とも無料クーポン券事業等により受診者数は大きく伸びた。他の検診でも一定の伸びがみられ計画数値に近づきつつある。								
28年度の成果等	昨年と同様乳がん月間にピンクリボンキャンペーンとして、街頭キャンペーン・マルチビジョン放映を行い、加えて28年度は、乳がん講演会(1回)を行った。受診率は、乳がん検診では増加したが、胃がん・大腸がんで受診率が減少した。今後も個別勧奨や区報等により、周知を図るとともに、胃内視鏡検査追加することにより、受診率の向上を図る。なお、28年度より、国の受診率の算定方法が変更になったが、本実績報告においては、従前の方法によった。									
29年度の成果等	胃がん検診は、内視鏡検査を導入したことで、受診率が増加した。また、子宮がん検診、乳がん検診は、無料クーポン券事業の対象者が前年の5分の1となったことで、受診率は減少した。なお、10月の乳がん月間にピンクリボンキャンペーンとして、都と共催しトークショーや啓発ブースを出展し、乳がん検診の受診啓発を図った。									

事業概要	事業名	妊娠・出産への支援					事業番号	1-4-1		
	事業内容	妊娠届の提出により母子健康手帳とともに、妊婦健康診査と妊婦歯周疾患検診の受診票を配付している。検診は年間を通じて各医療機関で実施している。								
事業実績	計画目標・計画内容	経済的負担を軽減し安全な出産に導くため妊婦健康診査の助成を実施する。また「妊婦歯周疾患検診」を実施し、歯周疾患のリスクが高まる妊娠期の口腔衛生の向上を図る。母子健康手帳交付時に保健師による妊婦面接を行って、ハイリスク妊婦を把握し、関係機関と連携して適切な支援を実施する。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	妊婦歯周疾患検診	人	700	822	850	121%	879	126%	871	124%
	母子健康手帳交付時面接	件	1,200	1,328	1,909	159%	1,980	165%	2,130	178%
	27年度の成果等	妊娠届の増加に伴い受診者も増加の傾向にある。妊婦健康診査の受診者は延26,111人(償還払い分延2,761人含む)妊婦歯周疾患健診の受診者は850人27年度より母子健康手帳交付に伴う保健師による妊婦全数面接(ネウボラ面接)を開始した。その結果、面接の実施数が増加し、妊娠期からの継続した支援体制が充実した。								
28年度の成果等	妊娠届の受理件数は、平成28年度2,262件と前年度より65件減少したが、妊婦歯周疾患健診の受診者数は増加するとともに、受診率が向上した。また、妊婦健康診査の受診者も延26,612人(償還払い分延2,577人含む)と増加した。ネウボラ面接は制度周知が進み、面接実施件数が増加し、ハイリスク妊婦の把握と適切な早期支援を実施することができた。今後も妊娠・出産を通じ、切れ目ない支援と産後ケアサービスの更なる充実に向けた検討を行う。									
29年度の成果等	妊娠届の受理件数は、平成29年度2,297件と前年度より35件増加した。妊婦歯周疾患健診の受診者数は平成29年度871件であった。また、妊婦健康診査の受診者延は25,463人(償還払い分延2,571人含む)であった。ネウボラ面接(妊婦全数面接)は実施件数が増加し、妊娠初期から家庭の状況に応じた情報提供と早期からの支援体制の充実につながっている。今後も、妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援の充実に努めていく。									

事業概要	事業名	新生児期からの育児支援					事業番号	1-4-2		
	事業内容	生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、母子の健康管理や子育てに関する情報の提供を行い、適切な支援を実施する。								
事業実績	計画目標・計画内容	生後4か月児までの乳児のいるすべての家庭を対象に保健師・助産師が訪問し、母子の健康管理や子育てに関する情報提供を行う。支援が必要な家庭に対しては、保健師による相談を継続し、関係機関と連携して適切な支援を行う。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	乳児家庭訪問率	%	88	86	86	98%	87	99%	91	103%
	27年度の成果等	妊娠届出時の面接や母親学級・両親学級で本事業の周知を行うことで出生通知票の受理数は順調に推移している。訪問実績では前年度を約100件上回っているが、対象者数の増加が著しく、困難ケースも増加していることから、目標値を若干下回っている。27年度より「文京区版ネウボラ事業」が始まり、より継続的・重層的な支援体制となった。								
28年度の成果等	ネウボラ面接(妊婦全数面接)や母親学級・両親学級、子育て応援メールなどを活用し、事業の周知を図っている。訪問実績は前年度を約100件上回っており、訪問率も目標値に近づいている。 引き続き各家庭の状況に応じた情報提供を行うとともに、支援を要する家庭に対しては、関係機関と連携し、適切な支援体制を組んでいく。									
29年度の成果等	ネウボラ面接(妊婦全数面接)や母親学級・両親学級、子育て応援メールなどを活用した周知により、乳児家庭への訪問数と訪問率は伸びている。引き続き家庭の状況に応じた情報提供を行うとともに、関係機関と連携し、継続的・重層的な支援を行っていく。									

\* 新たな「子育て支援計画(平成27年度～平成31年度)」に合わせて「保健医療計画(平成25年度～平成29年度)追補資料」を作成し、目標数値を変更している。(目標数値:乳児家庭訪問率 85%→88%)

事業概要	事業名	子どもの健康の確保(乳幼児健康診査)				事業番号	1-4-3			
	事業内容	4か月から3歳までの乳幼児を対象に、年齢別に発育・発達状態の健康診査を実施し、疾病の早期発見に努めるとともに、育児に必要な保健指導を実施する。								
事業実績	計画目標・計画内容	4か月から3歳までの乳幼児を対象に、年齢別に発育・発達状態を確認するとともに、疾病を早期に発見し適切な治療や療育につなげる。また、子育てのストレスや育児不安をもつ等子育てが困難な家庭を把握し、関係機関と連携して支援していく。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	4か月児健康診査受診率	%	98	99	100	102%	97	99%	97	99%
	1歳6か月児健康診査(歯科)受診率	%	90	95	94	104%	95	106%	95	106%
	3歳児健康診査受診率	%	90	97	96	107%	98	109%	98	109%
	27年度の成果等	4か月児健康診査 60回 1歳6か月児健康診査(歯科) 30回 3歳児健康診査 30回 未来所者については、家庭訪問等により受診を勧奨し、さらに他医療機関での受診など状況の把握に努めている。								
28年度の成果等	4か月児健康診査 60回、1歳6か月児健康診査(歯科) 30回、3歳児健康診査 30回 健診については目標値を上回る受診率となっており、各健診毎に要支援家庭を把握するためのカンファレンスを行い、必要な支援につなげている。また、未来所者については、家庭訪問等により受診を勧奨し、さらに他医療機関での受診など状況の把握を行っている。今後も引き続き、要支援家庭の把握・支援に努めていく。									
29年度の成果等	乳幼児健診の受診率は概ね目標値に到達しており、各健診において疾病の早期発見と適切な治療・療育へのつなぎを行っている。また、子育ての困難感を抱える家庭を把握し、関係機関と連携した支援を行っている。今後も引き続き要支援家庭の把握・支援に努めていく。									



事業概要	事業名	介護予防事業の充実					事業番号	1-5-3		
	事業内容	すべての高齢者がいつまでも元気な身体を維持し、要支援や要介護状態になることを予防するため、介護予防に向けた取り組みが自主的に実施される地域社会の構築を目指して、より効果的な介護予防事業を実施する。								
事業実績	計画目標・計画内容	転倒骨折予防、尿失禁予防、膝・腰痛予防、口腔機能向上、認知症予防、栄養改善等の教室のほか、これらを複数実施する複合型の教室事業等、高齢者が楽しく継続的に介護予防に取り組めるよう、民間事業者の活力を導入しながら多様な教室を展開する。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	一般介護予防事業参加実人数	人	2,100	2,553	2,491	119%	2,698	128%	2,791	133%
	27年度の成果等	27年度は事業改編に伴う教室数の減少があったが、参加人数の増加がみられる文の京介護予防体操地域会場を二部制にするなど、介護予防に参加する機会の増加を図り、参加実人数は微減にとどめることができた。 また、介護予防講演会を年3回実施し、「口腔機能向上」、「サルコペニアとフレイル」及び「認知症予防」の各テーマで介護予防の普及啓発を図った。 参加者からは身体機能の改善や自宅で継続したいなどの感想が聞かれており、運動継続及び介護予防に対する意識を高めることにつながった。								
28年度の成果等	文の京介護予防体操は、4月より新たに3会場を開設、また参加者の増えている会場を11月より二部制実施とした。新たな参加者も多く、高齢者が地域で気軽に運動をはじめめる手段として定着している。また、11月からは、職員が季節ごとに地域会場を回り、体操参加者に低栄養予防のミニ講話を行うなど、運動以外の啓発も図っている。 なお、介護予防講演会では、「加齢による運動器機能低下予防(ロコモ予防)」「低栄養予防」「認知症予防」の各テーマで介護予防の普及啓発を図った。特にロコモ予防と認知症予防には多くの申込があり、区民の関心の高さが伺えた。 今後もあらゆる機会を捉え、介護予防の普及啓発を図る。									
29年度の成果等	文の京介護予防体操は、29年4月より2会場を二部制とし参加者増に対応した。30年1月より新たに1会場を開設、14会場合計で千人を超える参加者となり、広く高齢者に浸透している。 また、教室事業においては、介護予防体操地域会場における低栄養予防ミニ講座の継続や脳の健康教室における身体ほぐし体操の導入など、運動・栄養・口腔・脳トレなどを複合的に取り組めるようプログラム構成の見直しを行った。これにより、様々な介護予防の取り組みが相互に関係して健康維持につながることを伝えることができた。さらに、わずかながら健康マージャン教室の定員増を図り、効率的な実施方法に改善した。 介護予防講演会は、「転倒骨折予防」「オーラルフレイル予防」「認知症予防」の各テーマで行った。高齢者のみならず家族も含め、介護予防の理解が深まったと好評であった。引き続き、広く区民に対し介護予防の普及啓発を図っていく。									

\* 新たな「高齢者・介護保険事業計画(平成27年度～平成29年度)」に合わせて「保健医療計画(平成25年度～平成29年度) 追補資料」を作成し、目標年度、目標設定対象及び目標数値を変更している。

(目標年度:26年度→29年度 目標設定対象・目標数値:一次予防事業参加実人数 3,211人 → 一般介護予防事業参加実人数 2,100人)

事業概要	事業名	食を通じたコミュニケーション				事業番号	1-6-2			
	事業内容	<p>区立保育園や区立小・中学校においては適切な給食が実施されるように巡回指導や、栄養管理、栄養技術の講習会を実施する。</p> <p>また、ぶんきょうハッピーベジタブル大作戦として、ぶんきょう野菜塾やこども野菜塾の講習会を実施し、ハッピーベジタブルフェスタを開催して共食や食文化に関する啓発を行う。</p> <p>さらに、講習会の修了者を中心としたクッキング応援隊を食育サポーターとして育成し、地域の食育活動を推進する。</p>								
事業実績	計画目標・計画内容	<p>区民が望ましい食習慣を実践できるよう広く食育を推進していくため、食のリーダーとなる人材を育成する。</p> <p>区民や栄養士を対象に、食や栄養に関する知識・技術を身につける機会を提供するとともに、食のリーダーとしてイベント等において区民と交流を図りながら情報発信を行うことができるよう支援する。</p>								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	食育サポーター	人	150	143	154	103%	168	112%	200	133%
	27年度の成果等	<p>食育サポーターは、自主活動グループ主催の講習会講師を務めたり、ハッピーベジタブル大作戦における各種事業に参加したりするなど、その活動が広がっている。</p> <p>今後もサポーター数を増やし内容を充実させていく。</p>								
	28年度の成果等	<p>ハッピーベジタブルフェスタにおいて、ぶんきょう野菜塾生が野菜大使として、野菜に関するクイズを作成・展示し、区民に対し情報発信を行った。</p> <p>今後もサポーター数を増やし内容を充実させていく。</p>								
29年度の成果等	<p>ぶんきょう野菜塾では、食や栄養に関する知識・技術を身につけた。また、卒業生との交流を通して、継続的に望ましい食習慣を実践するための機会を得た。</p> <p>今後もサポーター数を増やし内容を充実させていく。</p>									

事業概要	事業名	地域医療連携の充実	事業番号	2-1-1
	事業内容	区内の大学病院・都立病院、地区医師会・歯科医師会・薬剤師会等で構成する協議会及び検討部会を年に数回開催し、文京区での地域医療連携における課題や問題点について検討している。		
事業実績	計画目標・計画内容	区民に、より適切な医療を提供するため、区内の大学病院・都立病院、地区医師会・歯科医師会・薬剤師会等で構成する協議会及び検討部会の協議・検討を通じて、地域医療連携を推進する。		
	27年度の成果等	<p>地区三師会、区内大学病院、その他関係医療機関からなる協議会、検討部会を開催し、地域医療連携について検討した。部会の中で、在宅医療検討部会は、地域包括ケア推進委員会の専門部会の委員を同一とし、医療と介護の連携を進めている。27年度、在宅療養後方支援病院として、新たに公益社団法人東京都教職員互助会三楽病院と協定を結び、合計4病院となった。</p> <p>地域医療連携推進協議会 1回 開催  小児初期救急医療検討部会 1回 開催  高齢者・障害者口腔保健医療検討部会 1回 開催  在宅医療検討部会・地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会 2回 開催</p>		
	28年度の成果等	<p>地区三師会、区内大学病院、その他関係医療機関からなる協議会、検討部会を開催し、地域医療連携について検討した。在宅医療検討部会においては、「地域における医療・介護の連携に関する現状と課題、解決に向けての取組み(案)」が提案された。また、在宅療養後方支援病院として、4病院と協定を結んでいる。28年度、かかりつけ医・在宅療養相談窓口を小石川医師会に開設した。</p> <p>地域医療連携推進協議会 1回 開催  小児初期救急医療検討部会 1回 開催  高齢者・障害者口腔保健医療検討部会 1回 開催  在宅医療検討部会・地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会 3回 開催  今後も、協議会及び検討部会を開催し、地域医療連携における課題や問題点を検討する。</p>		
	29年度の成果等	<p>地区三師会、区内大学病院、その他関係医療機関からなる協議会、検討部会を開催し、地域医療連携について検討した。在宅療養後方支援病院として、4病院と協定を結んでいる。また、かかりつけ医・在宅療養相談窓口を開設している。29年度、『知って安心「退院までの準備ガイドブック」』を作成し、区内大学病院・都立病院での配布を行った。</p> <p>地域医療連携推進協議会 2回 開催  小児初期救急医療検討部会 1回 開催  高齢者・障害者口腔保健医療検討部会 1回 開催  在宅医療検討部会・地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会 2回 開催  今後も、協議会及び検討部会を開催し、地域医療連携における課題や問題点を検討する。</p>		

事業概要	事業名	災害時医療の確保	事業番号	2-2-1
	事業内容	災害に備え、災害用医療資器材を整備するとともに、防災訓練等を実施する。また、文京区における災害医療体制について協議するため、医療関係者、災害拠点病院、消防署、区で構成される災害医療運営連絡会を開催する。		
事業実績	計画目標・計画内容	災害用医療資器材等の整備を進めるとともに、医療救護体制を整備する。		
	27年度の成果等	災害用医療資器材については、年次計画に基づき更新するとともに、今後新たに備蓄する品目について購入した。当該備蓄品目も、年次計画に基づき購入及び整備していく。また、年4回の避難所総合訓練においては、災害時の医療救護活動マニュアルに基づいた医療救護訓練を実施した。 加えて、三師会から希望者を募り、トリアージの研修を行った。 今後も医療資器材及び医薬品については適切な管理、更新を行っていく。また、関係機関との更なる連携強化に努める。		
	28年度の成果等	年次計画に基づき、災害用医療資器材の更新等を行うとともに、医薬品についても更新し、新たな品目を追加で配備した。 また、災害時の医療救護活動マニュアルに基づいた訓練の実施や、三師会を対象にした区主催のトリアージ研修会の開催等により、医療救護活動に従事する医師等のスキルアップを図った。 災害発生時に、より円滑かつ迅速に医療救護活動を行うことができるよう、今後も医療資器材等の適正な配備や、関係機関との連携強化に取り組む。		
	29年度の成果等	年次計画に基づき、災害用医療資器材の更新等を行うとともに、医薬品については薬剤師会と協議のうえ備蓄品目を見直し、更新及び新たな品目を追加で配備した。 年4回実施する避難所総合訓練に三師会の医師等が参加し、医療救護活動の訓練を行った。 また、医療救護活動で行うトリアージのスキルアップのため、三師会を対象に区主催のトリアージ研修を引き続き実施した。 今後も医療資器材等を適正に配備し、訓練等により検証を行い、災害発生時に円滑かつ迅速に医療救護活動を行うことができるよう、関係機関との連携強化に取り組む。		

事業概要	事業名	要医療援護者の災害時の支援	事業番号	2-2-2
	事業内容	在宅人工呼吸器使用者の不測の事態における安全確保のため、患者ごとに「災害時個別支援計画」を策定し、災害時の支援体制を整える。		
事業実績	計画目標・計画内容	在宅人工呼吸器使用者の把握、避難支援を含めた災害時個別支援計画策定等の支援体制を整える。		
	27年度の成果等	実効性ある計画を目指し、27年度は3名の個別支援計画のモニタリングを行った。また、介護保険課、障害者福祉課と連携し新規ケースの把握に努めた。		
	28年度の成果等	対象者の把握については、介護保険課、障害福祉課と連携し、新規ケースの把握ができた。また、計画策定については、新規1名、モニタリング2名合わせて3名の個別支援計画を作成した。 計画策定のプロセスを踏むことが不足物品の気づきや関係者間の役割分担の見える化、平常時にやるべきことの自覚につながっている。また、防災課と連携し、避難所総合訓練に参加、人工呼吸器外部バッテリーの充電訓練を行った。実際に訓練参加したことにより実効性ある計画の見直しができた。 対象者数は多くないため、計画策定に関わる機会は限られる。また、避難所訓練に参加できるケースも限られているため、関係者連絡会等の機会を通し、課題の共有を図る。		
	29年度の成果等	対象者の把握については、介護保険課、障害福祉課と連携し新規ケースの把握に努めた。また、計画策定については、新規2名、モニタリング3名合わせて5名の個別支援計画を作成した。 昨年に続き避難所総合訓練に参加、人工呼吸器外部バッテリーの充電訓練を行うことでより実効性ある計画の見直しができた。また、充電時間を利用し、新たに作成した人工呼吸器に関するパネルを展示し、一般の訓練参加者に対し理解を促すことができた。 今後も関係者連絡会等の機会を通し、課題の共有を図る。		

事業概要	事業名	精神障害者の地域生活支援体制の充実[地域生活安定化事業]				事業番号	2-3-2			
	事業内容	未治療や治療中断している精神障害者の病状悪化及び非自発的な入院を未然に防止するため、地域活動支援センターの支援員が自宅訪問を行い、通院同行や服薬見守りなどの支援を行う。								
事業実績	計画目標・計画内容	治療中断及び怠薬を予防するため、地域活動支援センターの支援員が自宅を訪問し、通院同行や服薬見守りなどの支援を行う。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	利用者数	人	45	34	41	91%	36	80%	31	69%
	27年度の成果等	相談窓口として27年度に文京区障害者基幹支援センターが開設したこともあり利用者が増加、主に通院同行や服薬確認などの支援を行った。容体が安定するなどにより支援終了となったケースもあり、事業の効果が表れている。								
28年度の成果等	27年度のような急激な利用者の増加はなかったが、安定して通院同行や服薬確認などの支援を行うことができた。また、容体の安定化による支援終了者も増加しており、これから対象者への積極的な導入を促していく。									
29年度の成果等	29年度も支援が必要な精神障害者に対して、通院同行や服薬確認等の支援を行うことができた。支援困難ケースについては、事業所を含めた定期連絡会での事例検討を行い、対応していきたい。									

事業概要	事業名	新型インフルエンザ対策の体制整備				事業番号	3-1-2			
	事業内容	新型インフルエンザ等感染症発生時のまん延防止対策及び医療体制整備等を行う。								
事業実績	計画目標・計画内容	新型インフルエンザ行動計画を策定し、新型インフルエンザ発生時の危機管理体制及び対策を整備する。								
	27年度の成果等	27年度に新たな任期の委員を委嘱し、新型インフルエンザ等感染症医療体制検討会議を実施した。会議においては、診療体制の確認、26年度実施した患者移送訓練の報告及び住民接種における国の研究等について情報共有を行った。								
	28年度の成果等	新型インフルエンザ等感染症医療体制検討会議を実施し、診療体制の確認、患者移送訓練の報告及び特定接種等についての情報共有を行った。								
	29年度の成果等	29年度に新たな任期の委員を委嘱し、新型インフルエンザ等感染症医療体制検討会議を実施した。会議においては、患者移送訓練の報告、ブロック別地域医療確計画の改定及び課題の整理等について情報共有を行った。								

事業概要	事業名	予防接種率の向上					事業番号	3-2-4		
	事業内容	予防接種法に基づき、定期予防接種事業を実施する。								
事業実績	計画目標・計画内容	定期予防接種について、適切な情報提供及び接種の積極的勧奨を行い、接種率の向上を図る。								
	数値目標名	単位	目標 (29年度)	26年度 実績	27年度		28年度		29年度	
					実績	進捗率	実績	進捗率	実績	達成率
	MR1期接種率	%	95	97	96	101%	97	102%	98	103%
	MR2期接種率	%	95	91	92	97%	89	94%	94	99%
	子宮頸がん予防接種率(中学1年相当)	%	85	0	1	1%	0	0%	1	1%
	27年度の成果等	<p>【MR(麻しん・風しん混合)ワクチン予防接種】 MR1期(満12か月～24か月に接種)の接種率は目標を上回ったが、MR2期(5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間で接種)の接種率は目標を下回った。引き続き、予診票の個別発送、保育園・幼稚園を通したチラシの配布等を行い、接種勧奨に努める。</p> <p>【子宮頸がん予防ワクチン接種】 子宮頸がん予防ワクチンについては、25年6月に積極的接種勧奨が差し控えられて以降、接種者数は大きく減少している。勧奨再開については未定。</p> <p>【任意予防接種費用助成事業】 ① おたふくかぜワクチンについて、3,000円助成した。 27年度接種者数 2,050人 ② 定期予防接種のMRワクチン接種もれ者に対して、全額助成した。 27年度接種者数 82人 ③ 高齢者用肺炎球菌ワクチンについて、一部助成(自己負担4,000円)した。 27年度接種者数 424人 ④ 先天性風しん症候群対策事業として、風しん抗体価が低い人に対して、風しんワクチン(MRワクチン含む)の全額助成した。 27年度接種者数 351人</p>								
28年度の成果等	<p>【MR(麻しん・風しん混合)ワクチン予防接種】 MR1期(満12か月～24か月に接種)の接種率は目標を上回ったが、MR2期(5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間で接種)の接種率は目標を下回った。引き続き、予診票の個別発送、保育園・幼稚園を通したチラシの配布等を行い、接種勧奨に努める。</p> <p>【子宮頸がん予防ワクチン接種】 25年6月に積極的接種勧奨が差し控えられて以降、接種者数は大きく減少したままである。なお、勧奨再開については未定である。</p> <p>【任意予防接種費用助成事業】 ① おたふくかぜワクチンについて、3,000円助成した。 28年度接種者数 2,098人 ② 定期予防接種のMRワクチン接種もれ者に対して、全額助成した。 28年度接種者数 76人 ③ 高齢者用肺炎球菌ワクチンについて、一部助成(自己負担4,000円)した。 28年度接種者数 508人 ④ 先天性風しん症候群対策事業として、風しん抗体価が低い人に対して、風しんワクチン(MRワクチン含む)の全額助成した。 28年度接種者数 353人</p>									

	<p>29年度の成果等</p>	<p><b>【MR(麻しん・風しん混合)ワクチン予防接種】</b>  MR1期(満12か月～24か月に接種)の接種率は目標を上回ったが、MR2期(5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間で接種)の接種率は目標を下回った。引き続き、予診票の個別発送、保育園・幼稚園を通したチラシの配布等を行い、接種勧奨に努める。</p> <p><b>【子宮頸がん予防ワクチン接種】</b>  25年6月に積極的接種勧奨が差し控えられて以降、接種者数は大きく減少したままである。なお、勧奨再開については未定である。</p> <p><b>【任意予防接種費用助成事業】</b></p> <p>① おたふくかぜワクチンについて、3,000円助成した。  29年度接種者数 2,113人</p> <p>② 定期予防接種のMRワクチン接種もれ者に対して、全額助成した。  29年度接種者数 92人</p> <p>③ 高齢者用肺炎球菌ワクチンについて、一部助成(自己負担4,000円)した。  29年度接種者数 326人</p> <p>④ 先天性風しん症候群対策事業として、風しん抗体価が低い人に対して、風しんワクチン(MRワクチン含む)の全額助成した。  29年度接種者数 347人</p>
--	-----------------	---